

くだまつ

# 市議会だより

No.186



## 目次

- |                |   |                            |    |
|----------------|---|----------------------------|----|
| ● 7月臨時会        | 2 | ● 高校生と議会の懇談会について           | 11 |
| ● 9月定例会/10月臨時会 | 3 | ● 視察受け入れについて/今後の議会の予定/編集後記 |    |
| ● 一般質問(9月定例会)  | 5 |                            | 16 |

令和6年12月1日

## 第5回臨時会上程議案

### 全会一致で可決された議案

予算	一般会計補正予算（第3号）
その他	旗岡市営住宅C号棟建設工事（建築主体）請負契約の締結

令和6年第5回市議会臨時会は、7月24日に開催されました。  
上程された議案の審議内容について掲載しています。

# 7月臨時会



### 議案の内容

#### 《本会議 質疑》

**議員** 対象者の増加の要因は。また今後の給付スケジュールは。

**市** 令和6年度税額の確定後、対象者を抽出したところ、当初見込みとの差が生じた。8月から給付を開始し、11月中に支払いを終える予定。

#### ☆直近の税情報等に基づく 給付見込世帯数の増加に伴う事業費の増額

[補正予算額 3億1,530万円]

- ・令和6年度分の住民税が新たに非課税となる世帯（10万円/世帯）
- ・令和6年度分の住民税が新たに均等割のみ課税となる世帯（10万円/世帯）
- ・低所得者の子育て世代への加算：こども加算（5万円/児童）
- ・定額減税しきれない者への給付（最大4万円/人）

低所得者支援及び定額減税  
補足給付金給付事業

〈全会一致で原案可決〉

〈議案第40号〉 一般会計補正予算（第3号）

#### 《本会議 質疑》

**議員** 1者の入札で競争性はあるのか。

**市** 条件付一般競争入札により広く参加を募った結果、1者の応募であり競争性は保たれている。

**議員** 電気設備や昇降機設備の入札が不調であるが、工事の段取り等への影響は。

**市** 建築主体の準備から始まるのでただちに影響はないが、今後影響のないように努める。

**議員** 戸数に比べて駐車台数に余裕があるが、市営住宅は1戸1台が原則ではないのか。

**市** 規定上2台目以上も駐車は可能となっている。

**議員** 接道の道幅が狭いが、拡幅の予定は。

**市** 拡幅予定はないが、アスファルト、側溝等の補修は状況により判断していく。

**議員** 物価上昇が見込まれる中、予定価格は適正か。

**市** 入札単価は設計時の最新の単価で計算しており、適正と考える。

### 議案の内容

#### ○旗岡市営住宅C号棟建築工事 （建築主体）

[契約金額：8億4,480万円]

- ・契約相手方：株式会社 中山組
- ・工期：令和8年3月23日まで
- ・工事概要：市営住宅（RC造5階建て41戸）

旗岡市営住宅C号棟を新たに建築する工事の契約締結

〈全会一致で原案可決〉

〈議案第41号〉 旗岡市営住宅C号棟建設工事（建築主体）請負契約の締結について



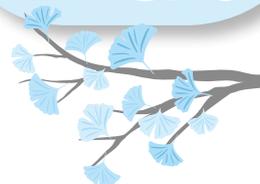
【旗岡市営C号棟イメージ図】



令和6年第6回市議会定例会は、9月4日から18日までの15日間、第7回臨時会は10月15日の1日の会期で開催されました。  
上程された議案は以下のとおりです。  
主な議案の審議内容について、次ページに掲載しています。

# 9月 定例会

# 10月 臨時会



## 9月定例会の議案など

### 全会一致で可決された議案

予算	一般会計補正予算（第4号）
	介護保険特別会計補正予算（第1号）
	後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
条例	下松市営住宅条例の一部を改正する条例
	下松市教育集会所条例を廃止する条例
契約	公集児童の家建設工事（建築主体）請負契約の一部を変更する契約の締結
その他	周南市・光地区消防組合・下松市消防通信指令事務協議会の設置

### その他の議案

選任	下松市議会議会運営委員会の委員の選任
同意	下松市教育委員会の委員の任命

### 閉会中の継続審査となった認定議案 【常任委員会に付託：12月定例会採決予定】

令和5年度 決算認定	水道事業会計決算
	工業用水道事業会計決算
	簡易水道事業会計決算
	公共下水道事業会計決算

## 10月臨時会の議案

### 全会一致で承認された議案

予算 (専決)	一般会計補正予算（第5号）
	一般会計補正予算（第6号）

### 閉会中の継続審査となった認定議案 【常任委員会に付託：12月定例会採決予定】

令和5年度 決算認定	一般会計決算
	国民健康保険特別会計決算
	介護保険特別会計決算
	後期高齢者医療特別会計決算
	国民宿舎特別会計決算



## 補正予算 [ 第 4 号 ]ピックアップ

## ワクチン接種事業

### 定期接種開始による増額

#### ○新型コロナワクチン接種事業費

[補正額 1 億 6,840 万円]

令和 6 年 10 月から定期接種が開始されることに伴う事業費の増額

対象者

- ・ 65 歳以上の者
- ・ 60 ～ 64 歳で、心臓、腎臓若しくは呼吸器の障害又は免疫機能障害により日常生活が制限、又はほとんど不可能である者。

#### 《企画総務委員会 質疑》

**議員** 接種に係る本人負担を 2,100 円としているが、どのように算定したのか。

**市** 新型コロナウイルス感染症は B 類疾病にあたり、これまで B 類疾病のワクチン接種では、基本的に自己負担を 3 割としていた。

定期接種の費用は 1 万 5,300 円であり、国が 8,300 円を負担するため、残り 7,000 円の 3 割に当たる 2,100 円を本人負担とした。

## 補正予算 [ 第 4 号 ]ピックアップ

## 観光協会運営費補助

### 観光協会の運営費補助を増額

#### ○下松市観光協会運営費補助

[補正額 1,280 万円]

下松駅周辺の活性化を目的とした観光案内所の移転及び規模拡大に要する経費に対して補助を行うもの。



#### 《企画総務委員会 質疑》

**議員** 観光案内所の移転及び規模拡大とのことだが、現在の場所で同じ活動ができるのでないか。移転することで得られる効果等についての検証は行うのか。

**市** レンタル物品の貸付けや宅配便の受け取りといった事業を進めており、手狭になっている。今回の拡張により、駅周辺活性化のためのにぎわいづくりの拠点としての機能を担ってほしいと考えている。

効果の検証にあたっては来場者数のみならず販売額等についても注視していく。

## 補正予算 [ 第 4 号 ]ピックアップ

## 恋ヶ浜緑地公園整備事業

### 追加工事・財源更生の見直し

#### ○恋ヶ浜緑地公園整備事業

[補正額 4,000 万円]

安全管理施設、園路等の追加工事及び国庫補助金の減額に伴うもの。

#### 国庫補助金

社会課題対応型都市公園機能向上促進事業補助金

1,312.5 万円の減

#### 《企画総務委員会 質疑》

**議員** 国庫補助金が当初より減額となっているが、市の申請方法等に不備はなかったのか。

**市** 手続等の不備によるものではない。具体的な減額の理由は示されていないが、国の財源不足や物価高騰等によるものではないかと考える。

**議員** 工事により避難所としての能力を向上させるような公園全体の整備は考えていないか。

**市** 道路の幅や駐車場の拡張、樹木の伐採によって、拡張されたスペースに仮設テント設置が可能になる。大規模火災時の避難場所として更に活用できる公園になると考える。

# 令和6年9月定例会一般質問

一般質問は、9月10日、11日、12日の3日間で行われ、10人の議員が市政全般にわたる諸問題について質問をしました。

質問日	質問者	質問項目	掲載ページ
9月10日 (火)	たがみ しげよし <b>田上 茂好</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>国民健康保険税の負担軽減について</li> <li>高齢者の安全運転支援装置購入、設置への助成について</li> <li>小中学校給食費の無償化の具体化について</li> </ol>	6 ページ
	やなせ ひであき <b>柳瀬 秀明</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>オストメイトの方が安心して暮らせる環境整備について</li> <li>誰もが投票しやすい環境整備について</li> <li>子供の吃音の早期発見及び支援について</li> <li>「山口県パートナーシップ宣言制度」について</li> <li>学校給食費の無償化について</li> </ol>	
	やまね えいこ <b>山根 栄子</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>マイナンバーカードとマイナ保険証について</li> <li>学校司書を導入後の図書館に関する成果と学校が抱える問題点について</li> </ol>	7 ページ
	なかたに しろう <b>中谷 司朗</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>学校給食費無償化について</li> <li>下松市産業団地整備構想について</li> </ol>	
9月11日 (水)	きはら あいこ <b>木原 愛子</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>学校給食費の無償化について</li> <li>就学援助制度について</li> <li>子どもたちの視力低下について</li> <li>不登校児童・生徒の支援について</li> <li>部活動地域移行の現状と課題について</li> </ol>	8 ページ
	こんどう やすお <b>近藤 康夫</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>南海トラフ巨大地震（西日本大地震）に、どう備えるか。</li> <li>平時におけるウェル・ビーイングな地域社会と個人であり続けるには、何が大切か。</li> </ol>	
	いそべ たかよし <b>磯部 孝義</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>「子どもを大事にするまち」の実現について</li> </ol>	9 ページ
9月12日 (木)	あさもと てるあき <b>浅本 輝明</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>空き家対策について</li> <li>耕作放棄地対策について</li> </ol>	10 ページ
	もりた あやみ <b>守田 文美</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>学校給食について</li> <li>放課後児童クラブ（児童の家）について</li> <li>水道水の安全性について</li> </ol>	
	こんどう てつお <b>金藤 哲夫</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>「消滅可能性自治体」があると言われる山口県の中で、下松市はどう生き残りを図るのか。</li> <li>指定管理者制度の在り方について</li> <li>小中学校のプールの現状と今後について</li> </ol>	



田上 茂好

(無所属)

### 加齢による運転技能の低下が心配

**問** 普通免許の保有者は県内では4人に一人が高齢者である。下松市の地勢や公共交通機関の現状から、車両を日常的に使用せざるを得ない高齢ドライバーも少なくないと考えます。交通事故の防止や被害軽減のために、踏み間違ひ防止安全運転支援装置を後付けできるが、費用面での支援を求めます。

**答** 加齢に伴う身体能力の変化や認知機能の低下を要因とした事案が全国的に発生している。本市では交通安全教室や高齢ドライバーを対象とした交通安全講習を実施して事故防止対策に取り組んでいる。安全運転支援装置への助成は、ドライバーの運転時の安全につながるものであり、他自治体の事例を参考に検討していきたい。

## 高齢者の安全運転支援装置に助成を



### 小中学校の給食費無償化の具体化を

**問** なんらかの方法で学校給食費の無償化を実施中の自治体は全体で4割になっている。子育て支援策になるし、食育を通じて児童生徒の健やかな成長を保障する役割を果たすことにもなる。早期に実施すべきではないか。

**答** 物価高騰の影響により、食材費の上昇が続いているが、保護者の負担が増えないように努めている。現在、給食費改定の協議を進めているが、物価高騰に伴う増額分は市が負担する予定としている。無償化については、財源の確保に努め、適正な在り方を検討する。



柳瀬 秀明

(公明党)

### ストーマ装具の給付基準額の増額について

**問** 昨今ストーマ装具価格が上昇しており、オストメイトの方から経済的負担を感じているとの声を頂いた。全国調査によると、日常生活用具の給付額について約8割の方が基準額の不足を感じているとのこと。昨今の物価高騰を考えると、基準額が追いついておらず、社会情勢に見合った基準額の見直しが必要ではないかと考える。県内においても、基準額を見直す自治体が増えている。そこで本市の給付基準額の増額について考えを問う。

**答** 近年、ストーマ装具の価格が上昇していることは承知している。給付基準額の見直しについては、県内市町の状況をみながら慎重に検討していきたい。

**問** 昨今ストーマ装具価格が上昇しており、オストメイトの方から経済的負担を感じているとの声を頂いた。全国調査によると、日常生活用具の給付額について約8割の方が基準額の不足を感じているとのこと。昨今の物価高騰を考えると、基準額が追いついておらず、社会情勢に見合った基準額の見直しが必要ではないかと考える。県内においても、基準額を見直す自治体が増えている。そこで本市の給付基準額の増額について考えを問う。

## オストメイトの方が安心して暮らせる環境整備について

### 子供の吃音の早期発見及び支援について

**問** 子供の吃音は、3歳までにおよそ10人に1人が吃音を発症するとされている。3歳児健診での早期発見が大事だが、ある調査では吃音を明記している自治体は、わずか約1%にとどまっている。また相談時における理解促進のパンフレット配布が保護者の安心につながるが、本市の3歳児健診での吃音について早期発見や支援について問う。

**答** 本市の3歳児健康診査票に記載しており、該当する幼児に対しては、保健師の問診で症状や保護者の不安を把握し、状況に応じて療養機関につないで早期発見に努めている。議員提案の吃音理解のパンフレット配布についても、保護者の安心につながるので活用していきたい。





山根 栄子

(政友・鐵の会)

学校司書を導入後の図書館に関する成果と学校が抱える問題点について問う

**問** ①各学校でのこれまでの学校司書の取組と成果について問う。

②子供達の読書と学力向上の影響について問う。

③タブレット導入が子供達の図書室の利用にどう影響を及ぼしているか。

**答** ①学校司書導入は図書環境の充実、読書活動の充実の貢献を目的としている。現在は司書教諭と連携し、図書の配置図や分類表を作成し、レイアウトも分かりやすい様に掲示するなど、図書館で過ごす事を楽しくみに行っている子供が増えていると聞いており、より良い環境が構築されていると認識している。

②読書に対する興味関心が高い生徒ほど学力が高いという調査結果がでており、本に接することとは、学力向上や豊かな人間性

の育成に良い影響があると認識している。

③学校では一人一台タブレットを導入し、書籍の電子媒体と紙媒体を適宜選択し図書室も効果的に活用し、学習を進めている。インターネットを活用して検索ができる環境となり、図書室の利用者が減っていると思われがちだが、現実にはむしろ図書室の利用者が増えている。要因として調べ学習という観点から電子情報だけでなく、もっと調べてみたいという意欲があがってきていると考えられる。また学校司書の努力がそうさせている面もある。電子図書や二次元コード等、色々な調べ方が可能となり、それを上手く子供たちが活用できるようになってきており、インターネットも図書室利用も一つのツールとして、総合的に子供たちの調べる力、活動は充実してきている。

## 学校司書が設置されて7年目。現在の図書室はどう変わった？



電子図書や二次元コード等、色々な調べ方が可能となり、それを上手く子供たちが活用できるようになってきており、インターネットも図書室利用も一つのツールとして、総合的に子供たちの調べる力、活動は充実してきている。

学校給食費無償化は、極めて慎重に判断を



中谷 司朗

(新生クラブ)

**問** 子育て世帯への支援は、国を挙げての国策であり、そうした時代に変容したとの意識改革が求められているとも思うが、肝心の持続的な財政運営という観点からは、極めて慎重を期すべきものと考えられる。本市に、他の市民サービスの質と量とを落とさず、約2億5千万円という財源をねん出できるほど、財政にゆとりがあるのか。その効果と課題を十分考慮し、最適な方策を選択するよう求める。

**答** 本市の市税収入は、令和4年度から100億円を超えるなど堅調に推移している。しかしながら、給食費無償化には、更なる行財政基盤の強化と財源確保に向けた取り組みが重要になってくる。引き続き行財政改革による安定した財政基盤の確保を進め、「人口減少対策集中強化プラン」に基づき、企業誘致や定住人口増加に向けた諸施策を着実に取り組み、持続可能な行財政運営を進め、財源確保に努めていく。

産業団地整備構想の成果を期待する

**問** 市の整備構想では、東海岸の民間企業の遊休地に道路を整備して、企業立地を進めようとの計画である。相当な公費を投入することになるが、本市が産業用地の整備に取り込む、その意義、必要性をどう考えているか。また、財政リスクを最小限にとどめる意味でも、山口県の産業団地整備計画の二期工事に組み込んでもらうなど、国、県の力をおおいに活用すべきと考えるが、その展望について問う。

**答** 近年、全国的に産業用地が不足しており、市内製造事業者による新たな設備投資や工場の新設・拡張が活発に行われている。しかしながら、市内にはすぐに活用できる用地がなく、事業者の土地需要や市外事業者からの引き合いも増加傾向にある。こうした投資意欲のある事業者の市外流出を防ぐとともに、新たな企業誘致の促進を図るため整備に着手した。国庫補助や民間活力による整備を図り、国・県と緊密に連携して、必要な支援を求めていく。

## 身の丈に合った最適な選択を

**答** 近年、全国的に産業用地が不足しており、市内製造事業者による新たな設備投資や工場の新設・拡張が活発に行われている。しかしながら、市内にはすぐに活用できる用地がなく、事業者の土地需要や市外事業者からの引き合いも増加傾向にある。こうした投資意欲のある事業者の市外流出を防ぐとともに、新たな企業誘致の促進を図るため整備に着手した。国庫補助や民間活力による整備を図り、国・県と緊密に連携して、必要な支援を求めていく。



木原 愛子

(無所属)

就学に必要な費用の負担軽減をする就学援助制度について

問 物価高騰により市民の暮らしが年々厳しくなる中、就学援助制度を改善または拡充する自治体も全国各地にはある。

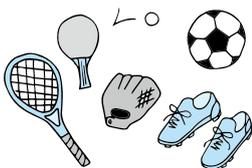
本市の現状と実態、そして今後、改善または拡充するのかを問う。

答 本市における令和4年度の認定状況は認定世帯数369世帯。内訳は小学生384人、中学生211人、合計595人で全児童生徒数の約13%となっている。今後も制度の周知に努め、経済的な援助を必要とする家庭への支援を進める。制度の改善や拡充については、生活保護基準を参考に、国の動向等を確認して対応していく。

部活動地域移行の現状と課題について

問 本市では令和4年6月に「二松市小中学校部活動地域移行推進協議会」を設立し、地域移行に向けた連携、協議を進めているが、現時点の登録団体数の状況や課題は。今後登録団体への補助金は考えているのか。また施設利用の考え方について問う。

答 今年度、地域交流課内に「地域クラブ活動推進室」を新設し7月からスポーツ活動について「くだまつ地域クラブ活動」の登録を開始し、現時点で8団体が登録している。登録団体へは随時ヒアリングを実施することにより課題の把握に努めており、活動場所や備品の確保、指導者不足等、課題は認識している。登録団体への補助金や施設利用の確保等、必要な支援については、国・県の方針や他の市町の状況を注視しながら検討していく。



近藤 康夫

(政友・鐵の会)

南海トラフ巨大地震（西日本大地震）に、どう備えるか

問 8月8日、想定震源域の日向灘で、最大震度6弱（M7.1）の地震が発生した。気象庁は、同日、南海トラフ地震臨時情報「巨大地震注意」を発表し、1週間、直ちに避難できる態勢を取るよう呼びかけた。初めてのことである。また、翌日の夜には、神奈川で震度5の地震も発生した。関東大震災の震源は小田原である。南海トラフと首都直下の大地震が、連動するかもと、不安が一瞬、よぎったのは、私だけだろうか。

鎌田・京大名誉教授は、「M9地震に備えよ」との著書の中で、南海トラフ地震は、「西日本大地震」という呼称でなければ、一般の人々はピンと来ないと述べられ、同時に「今から5年〜15年のうちに、ほぼ確実に起こるのではないか。」と警鐘を鳴らしている。

どう受け止めるか。また、高齢者や障害のある人たちを、どう守るか。「福祉」と「防災」の結びつきは、盤石なものといえるか。

答 大規模地震に対する危機感を一層強めているところである。災害時は、自助7割、共助2割、公助1割と言われる中「自分の身は、自分で守る」という意識と防災への取組が必要不可欠である。

避難行動要支援者には、本年4月時点で578名の個別計画を作成しており、関係者に情報提供を行い、速やかな避難行動につながる体制としている。また、社会福祉施設を運営する法人と協定を結び、福祉避難所を確保することで、要配慮者が早期に安心して避難できる体制づくりにも取り組んでいる。関係者への啓発や研修、訓練等を実施し「逃げ遅れゼロ」の実現に尽力したい。

### 平時の啓発と実践的な訓練等で「逃げ遅れゼロ」をめざせ!





磯部 孝義

(新生クラブ)

### 「子どもを大事にするまち」の実現

**問** ①子ども医療費助成制度の拡充状況を問う。②保育園や児童の家の状況と課題(待機児童や保育士確保等)を問う。③子どものSOSをしっかりと受け止める相談体制(こども家庭センター開設などの動き)の考え方を問う。④子ども子育て支援事業計画の策定状況、こども計画の考え方を問う。⑤小中学校のプールのあり方の検討、計画策定の考え方を問う。

**答** ①令和6年8月から所得制限なしで高校生年代まで拡充した。医療費助成は地域間格差なく全国一律に実施されるべきで、引き続き国に要望していく。②保育園の待機児童は、9月時点で17人。受け皿拡充のため、幼稚園の認定こども園への移行を進めている。また保育士確保

## こども・若者の声を聞く場を～施策・事業に生かす展開を

の取組(保育士トライアル制度の見直し)を実施中である。放課後児童クラブは、公集小学校区で4年生以上の受入れを制限しており、3年生も臨時的な措置として公民館などでの児童預かりを実施している。公集児童の家の建設事業は、入札不調により着手が遅れているが、令和7年4月開所を目指して取り組んでいる。③こども家庭センターは、一体的にすべての妊産婦、子育て世帯、こどもに対する包括的な支援を切れ目なく提供できる体制構築に向け、協議を進めている。相談員の増員や相談支援スキルのレベルアップなど強化に取り組んでいる。相談窓口の周知にも努める。

④ニーズ調査を終え現在分析中であり、次期計画では新たに子どもの貧困対策を盛り込む。計画策定におけるこどものアンケート調査も考えている。こども計画は今後策定に向け取り組むこととしている。⑤プール設備の現状確認、管理について各学校にヒアリングし、課題や要望を整理した。今年度、これらを踏まえ、プール適正化の計画策定を進めている。



浅本 輝明

(政友・鐵の会)

### 危険空き家の発生抑制及び空き家リフォーム事業について

**問** 「不動産業による空き家対策推進プログラム」は、空き家の発生から流通・利活用まで一括してサポート可能な空き家対策として有効な手段と考える。また、人口減少対策として、空き家の利活用を促進する「空き家リフォーム事業補助金」の活用について、市長の所見を求める。

**答** 「不動産業による空き家対策推進プログラム」については、空き家の流通拡大によって空き家問題を解決する新しい試みであることから国の動向を注視し研究していく。また、空き家の利活用を促す「空き家リフォーム事業補助金」については、本市の居住利用土地等検討事業の中で具体的な補助額や対象地域等、効果を見極めながら検討していきたい。

### 耕作放棄地対策について

**問** 農地所有者の高齢化による次世代への担い手不足は深刻で、耕作放棄地にはしたくないが、今後、農地をどのように管理すれば良いのかとの思いは切実である。そこで、今後、活用予定のない農地を処分する方法として、土地を国が引き取る「相続土地国庫帰属制度」について、また、貸し手、借り手、地域にもメリットがあると言われる「農地バンク制度」について、実績と今後の進め方について問う。

**答** 「相続土地国庫帰属制度」については、制度開始から4件の相談があったと聞いている。申請窓口は法務局であり、申請から許可まで約8か月掛かり、国に帰属する場合には、土地に関する10年分の管理費が必要となる。また、「農地バンク制度」については、農地の貸し手と借り手を結ぶ非常に有効なツールだと考えており、地域計画を策定し、農地の集約・集積化を進めていく。



## 空き家・耕作放棄地対策について



守田 文美

(政友・鐵の会)

給食について仕入れから給食費無償化まで色々と質問しました。

**問** ①食材の安全確保のため仕入れの仕組みが構築されているか。

②給食センターを夏休み等に稼働し児童の家や幼稚園に有償で提供してはどうか。

③コストのかかるセレクト給食を見直し、給食費無償化の財源を確保してはどうか。

④無償化の段階的実施の一環として、不登校(学校に行ける日も行けない日もある)児童生徒に給食費無償をはじめてはどうか。

⑤中学校はお弁当の日が多いとの意見がある。行事や試験があったとしても給食提供は可能ではないのか。

**答** ①食材の産地などは仕入れ業者を信頼し

## 不登校児童生徒の給食費無償化を児童の家の料金見直しを

で行っている。各種検査結果の提出を求め、確認方法についてしっかりと対応していく。

②夏休みはメンテナンス等が必要のため稼働は困難である。

③セレクト給食の在り方については必要に応じて見直しを検討したい。

④学校に通えていない児童生徒の給食費について、段階的無償化に向けた一つの提案を受けたが、これから慎重に検討していく。

⑤弁当の日は各中学校の要請を受けて実施している。試験や行事を円滑に行う必要があるためご理解いただきたい。在り方については給食センター運営委員会等で協議していく。

### 児童の家の保護者負担が下松市は近隣他市より高い!

**問** 通年利用の場合、本市は年間8万2千円、近隣他市は4万8千円のところもあり、保護者負担額に自治体間で大きな差がある。

また、公集小学校区や中村小学校区で利用制限があるのか。

**答** 全国の児童クラブの保育料と比較しても適正な料金と考えている。

公集小学校区については現在4年生以上の受入れを制限している。制限解消のため、令和7年4月開所を目指し、新たな児童の家を建設中である。

中村小学校区については夏休みに利用者が急増するため3年生以上の受入れを一部制限した。今後は受入れ確保のため関係機関と協議をすすめたい。



金藤 哲夫

(政友・鐵の会)

①人口減少対策  
②健全財政について  
③経済対策  
④地域振興

**問** ①全国で84自治体が消滅すると言われている。本市は令和2年から徐々に人口が減少しているが、特殊出生率は1.87人と県内では第1位で年間約500人の赤ちゃんが生まれている。反面若い女性の減少に歯止めがかからない。抜本的対策を求めます。

②昭和51年の財政再建団体以来、健全財政に努め将来負担比率も前年比4.1%改善している。しかし市民サービスの根幹となる扶助費は増加の一途であり経常収支比率97.3%と弾力性がなくなってきた。健全財政をどう堅持するか。

## 消滅可能性自治体があると言われる中でどう生き残るか。

③基幹産業の繁栄は即、市財政に影響を及ぼす。企業誘致や雇用の確保をどう展開するか。  
④第1次産業、とりわけ農業は農地の荒廃が加速している。どのように対応していくか。

**答**

①人口減少対策は人口減少対策策集中強化プラン等に基づき、企業誘致、就業支援、子育て環境整備、ものづくり女子育成プロジェクトなど若い女性の定着還流の取組を進めている。

②財政については身の丈に合った財政運営を常に意識し、歳入に見合った歳出構造への転換を図る。

③経済については日立ハイテクの操業開始をはじめ企業活動の更なる発展を期待している。今後も積極的な後押しと新たな企業誘致活動を進める。

④これまでの農業支援事業に引き続き、担い手の確保、育成等に取り組んでいく。

下松市議会

夢を語ろう

未来につなごう 高校生×市議会

高校生との懇談会  
2024 実施報告

7月24日、下松市議会議場において、「高校生との懇談会 2024」を開催しました。平成27年から実施している懇談会ですが、ここ数年は新型コロナウイルス感染症や台風接近等による中止が続き、議場では4年ぶりの開催となりました。

今年度は、市内の3つの高校からの参加者（下松工業高校8名、華陵高校12名、下松高校6名）が一同に会し、各校の代表者が「高校生からの提言・問題提起」として意見を述べました。また、議場での発表の後は各校と各委員会に分かれフリートークが行われました。

高校生26名と議員との間で交わされた意見をご紹介します。



## 高校生からの提言・問題基礎（抜粋）

### 下松工業高校

#### 私（たち）の認識「現状」

歩道に草が多く通行しにくい  
道が悪く夜道が暗いため危険

議員⇒現地確認を行った上で、市が通行の支障にならないように支障物（草）の撤去を実施した。

#### 未来「こうだったらいいなあ」

自転車で通学しやすい歩道がほしい  
夜道が明るくなる  
道が通りやすくなる

議員⇒街灯等を設置することで、①明るくて眠れないといった苦情②害虫の問題③農作物の生育の問題など、改善しようとする中で、時に、他の人が困ることもある。市民や市の間に入って調整することで、問題解決ができることがあるので、困った時は相談してほしい。

#### 実現するには

- ★私（たち）で出来ることは・・・  
草抜き等を学校のボランティア活動でしているがすべてはできない
- ★私（たち）で出来ないことは・・・  
街灯等を設置してほしい



## 華陵高校

### 私(たち)の認識「現状」

笠戸の魅力があまり伝わっていない  
(生かしていない、少ない)



### 未来「こうだったらいいなあ」

笠戸は観光地 → 下松といえば笠戸！  
笠戸以外は住みやすさ重視



### 実現するには

- ★ 私(たち)で出来ることは・・・
  - ①笠戸の現状を知る・調べる
  - ②企画
  - ③広める(SNS 発信など)各種提案水上アスレチック・花火のデザイン  
アイデアコンテスト・海の家経営・花火大会

議員⇒豪雨災害やコロナ等で各種イベントの中止・自粛が続いていた。  
若い世代の提言は、祭り等復活の機運を盛り上げるので大事にしたい。  
現状を知る、調べることは大事。フィールドスタディでくだまつを学ばれている。  
情報発信についても若い世代の発想が必要。引き続きどんどん意見を挙げてほしい。



## 下松高校

### 私(たち)の認識「現状」

- ①人口が増えている
- ②文化発信が弱い
- ③ゴミが多い(路上、山、川、海)
- ④投票率の低下



### 未来「こうだったらいいなあ」

- ①20代30代の人口を増やしたい
- ②文化に触れる機会を増やす
- ③白砂青松を目指していきたい
- ④投票率80%を目指したい



### 実現するには

- ★ 私(たち)で出来ることは・・・
  - ①高校の魅力を発信する。
    - 女子バスケット部インターハイ出場
    - 美術部笠戸島ウォールアート
  - ②授業内で文化を調べて発表する機会をつくる
  - ③3校で清掃ボランティアを募って活動したい
  - ④選挙権を持つ高校生が投票に行くように何かしたい
- ★ 私(たち)で出来ないことは・・・
  - ①子育て支援条例をつくる
  - ②行事や文化についてチラシを配布する
  - ③地域でもボランティアを募集する
  - ④大型ショッピングモールを投票所にする

議員⇒文化とは、自然、風土のなかで生まれる生活様式、価値観。  
下松市にも誇れる歴史文化がある。天王森古墳、埴輪、狐の嫁入り、破邪の御刀など。

議員⇒令和3年から下松も人口減少に転じているが、市の出生率は1.8で全国的に見れば住みよい街という評価。働く場所や居住環境の整備を進めている。東海岸通り企業誘致、豊井まちづくり整備など。



## 高校生との懇談会アンケート

### 市議会に関心が 持てたところはどこですか

- 議員と市民とは距離があると思っていたが、とても親しみやすく好感を持った。
- 市が計画している事業など、知らないことをたくさん知ることができた。
- どのような流れで議会が進むのかを実際に体験し、今まで持っていた意見に対し答えて頂いたところ。
- 自分が考えていた市議会よりも、議会がしっかりしていたところ。
- 考えてもいなかったような提案が、他校からの発表で知れたり、私たちの願いを真剣に考えたりしてくださったところ。
- K ビジョンでも議会が放送されているので見てみたい。
- 市の未来について真剣に考えているのだなと思い、この仕事がとても魅力的だなと思った。



### 市議会や議員に 期待することは何ですか

- 若者に向けた政策や事案を実行してもらうこと。
- 出来るだけ実現に向かおうとすること。それが若い層に伝わっていくこと。議会が何を話し合っ、何をこれから盛り上げていこうとしているのかあまり知らないなので、そういう所が学校に伝わってほしい。
- 下松市を住みよいまちにする事。笠戸島の観光を盛り上げる事。
- 計画だけを上げるのではなく、それを実行すること。
- 市と市民との橋渡しとしての役割。
- 下松市のことをPRすること。SNSでもっとPRをしていけたらいいのではないかな。
- 今回3つの高校の提案を少しでも多く実現してほしい。



## いたらいいなと思う議員

### (こんな議員が下松にいて欲しい)はどんな人ですか

- 下松の観光をもっとアピールする議員、学生と距離の近い議員。SNSなどに積極的な人がいて欲しい。
- 若い人を積極的に受け入れる姿勢を持つ議員、議員同士に学びが生まれるといい。
- 政治の仕組みを分かりやすく実際に教えてくれる議員。
- 市民の要望に早急に対応してくれる方。またイノベーションを助長してくれるような行動力のある方。
- 下松を最高の町へと発展させていくことが出来る人。実現できるか難しいことでも、それに近い行事などを提案してくださる人。
- ご意見番。
- 若い人が増えたらいい。今の議員さんは高齢の方が多く中々若い人たちがなろうと思うことが少ないと思う。
- 今までの伝統を大切にする人。
- 全国から注目を集める議員。



## 議場での発表について 感想をお聞かせください

- 学生では思いつかない考え方や現実を知ることが出来た。
- 次を考えるきっかけとなる回答を頂けて良い学びが出来ました。
- 伝えたいことを具体的に言うことが出来た。議員の方々がしっかりとその提言を踏まえて回答をされていてとても分かりやすかった。
- 他の高校の考えが聞けて良かった。
- 座っているだけでも緊張した。議員さんの回答が所々難しかった。
- 議員さんの回答が少し具体性に欠けていたと感じた。
- もう少しパワーポイントに力を入れ、分かりやすい発表をしたかった。
- 議員の回答でも映像を駆使したら良かった。

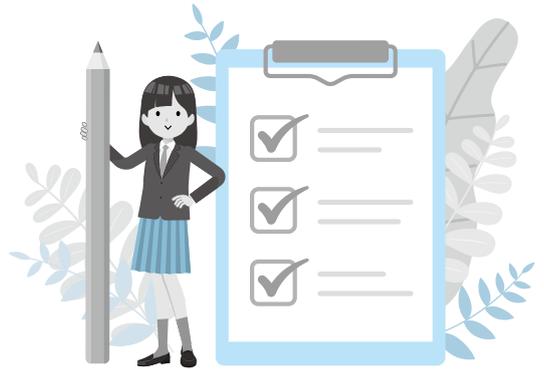
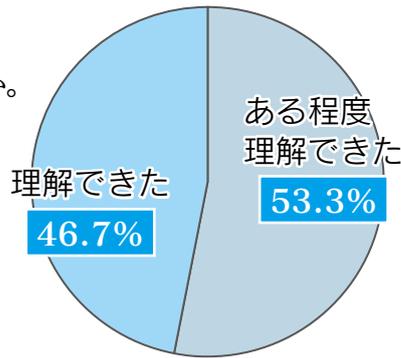
## 委員会に分かれての懇談会での 感想をお聞かせください

- 議員さんの話が面白かった。○×クイズを通して私たちの考えや現状を理解しようとして下さっている姿勢を見てうれしく感じた。
- 意見交換も出来、これからも繋がりをもって取り組みたいと思った。
- 下松市の魅力を再認識する良い機会となった。
- 下松の高校に3年間通っていても知らない事が多かったので、今回沢山知ることが出来て良かった。
- 議員さんは思っていたよりも、面白く優しい人だなと感じた。
- 時々入れる小ネタも緊張がほぐれたので良かった。本物の議員さんの考え方が聞けたので貴重な経験になった。
- 質問や意見に対して丁寧に対応して下さった。板書をしてくれて分かりやすかった。

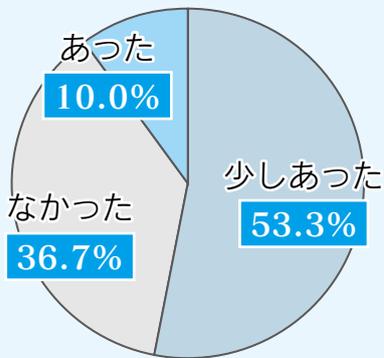


# 高校生との懇談会アンケート集計結果

■ 市議会の役割や活動は理解できましたか。

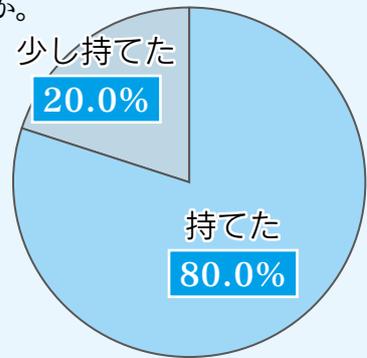


■ 今まで市議会に関心はありましたか。

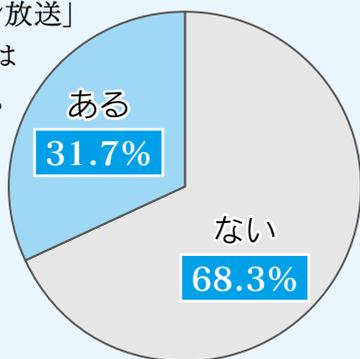


懇談会参加後…

■ 今回の懇談会に参加して、市議会に関心は持てましたか。

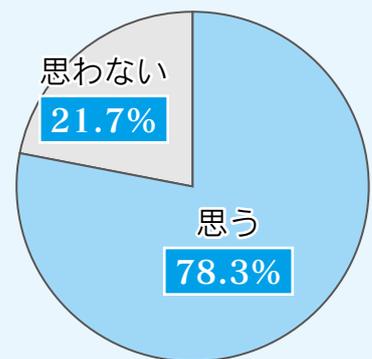


■ 今まで「市議会だより」、「市議会ホームページ」、「Kビジョン放送」は見たことはありますか。

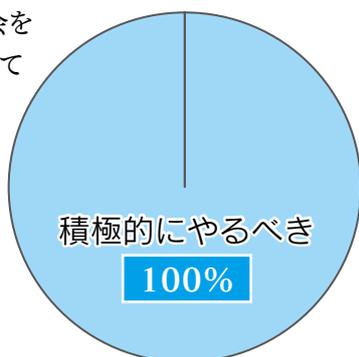


懇談会参加後…

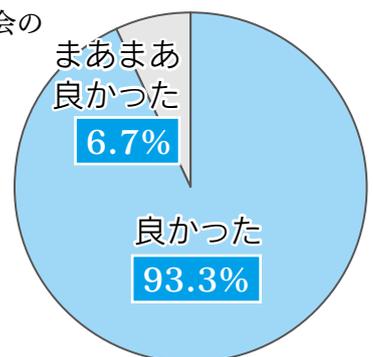
■ 今回の懇談会に参加して、今後見てみようと思いませんか。



■ 今回のような懇談会を開催することについてどう考えますか。



■ 今回のような懇談会の全体的な感想をお聞かせください。



# 視察受け入れをしました

## ひらめきパーク笠戸島(下松市栽培漁業センター)

### 福岡県 福岡市議会

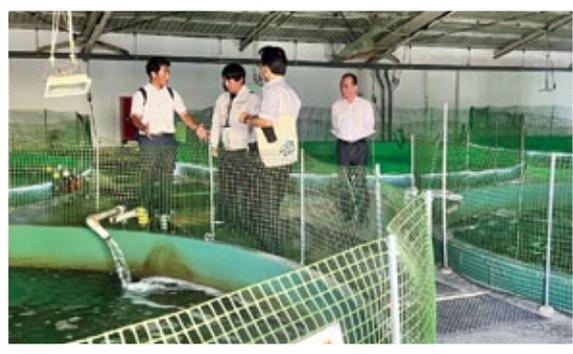
日時 7月31日

視察形式

委員会視察「経済振興委員会」(19名)

テーマ

養殖について



### 山梨県 山梨県議会

日時 8月27日

視察形式

委員会視察「農政産業観光委員会」(11名)

テーマ

水産資源を活用した地域振興について



下松市栽培漁業センターの概要、種苗生産・中間育成事業や養殖事業、観光振興の取組等視察が行われました。

## 今後の議会の予定

12月 4日(水) …… 本会議(初日)  
 9日(月) …… 委員会  
 (付託があるとき)  
 10日(火) …… 一般質問

12月 11日(水) …… 一般質問  
 12日(木) …… 一般質問  
 18日(水) …… 本会議(最終日)

※正式な日程は議会運営委員会で決定しますので、変更になる場合があります。



### 広報広聴委員会

委員長 山根 栄子  
 副委員長 柳瀬 秀明  
 委員 木原 愛子  
 ” 近藤 康夫  
 ” 三浦 徹也  
 ” 森良 介  
 (五十音順)

(きはら)

今後、市民の皆様にも親しまれる「議会だより」となるよう、ご意見を大切に広報広聴委員一同、取り組んでまいります。

また私事ではありますが、下松市議会初の産休・育休を取得させていただきました。授乳室を設ける等ご対応いただきました。産前産後にあたり色々とお気にかけてくださった皆様に感謝申し上げます。

市議会では台風接近やコロナ禍でしばらくできなかった「高校生との意見交換会」を3年ぶりに行うことができました。議員一同大きな刺激となりました。

「いつも議会だより見ちよるよ」と毎号、この市議会だよりの発行を楽しみに待ってくださっている皆様ありがとうございます。

編集後記

